

見た目よし！ 耐震性よし！ 施工性よし！ 宮崎うまれの MLT耐力壁

MLTとは？

「CLT」と「MLT」

現しで使える
構造面材

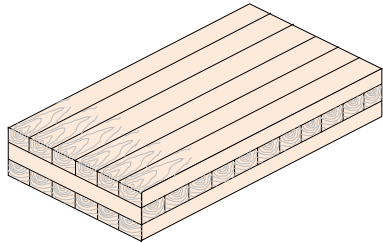
CLTの「弟分」宮崎オリジナルの面材「MLT」

CLT：Cross Laminated Timber（既製品）

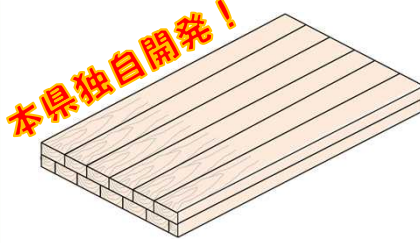
MLT：Miyazaki Laminated Timber



日本の
ひなた
宮崎県



- ・主に**中大規模建築物向け**
- ・スギ材やヒノキ材が一般的
- ・**3層構造以上**
- ・各層のひき板を並べる（または幅はぎ）
- ・各層を**直交させて**積層接着
- ・近年普及が進んでいる



本県独自開発！

- ・主に**小規模建築物向け**
- ・**宮崎県産スギ材**を使用
- ・**2層構造**
- ・各層のひき板を幅はぎ
- ・幅はぎの位置が重ならないよう**平行に**積層接着
- ・新たな構造面材として期待

県内での
CLTの
施工事例



宮崎県防災庁舎
（宮崎県HPより）



ウッドエナジー協同組合社屋
（（一社）日本CLT協会HPより）

MLTのメリット

- 意匠性** 現しで使い、木に溢れた空間づくりが可能
- 耐震性** 一般的な筋交いと同等以上の耐力を確保
- 施工性** 施工に重機が必要なCLTより**軽量**で**人力施工**が可能
一般的な金物等を用い、**特殊な施工技術が不要**
- 機能性** プランに応じた使い分けが可能

MLTの性能

ラインナップ

※壁倍率は $\alpha=0.75$ として算出したもので参考値

仕様と壁倍率



①標準型 **4.0倍**



②出隅対応型 **3.6倍**



③開口部設置型 **1.9倍**

特徴

各仕様の中で最も高耐力

出隅部など様々な箇所
で使用可能

開口部（窓）が設置可能

施工実績

ひなもりオートキャンプ場 ひなたキャビン4号棟

【外観】

所在地：宮崎県小林市



【内観】



写真はひなもりオートキャンプ場HPより

床、内壁にMLTをふんだんに
使用しています
木に囲まれた空間は利用者から
好評です

壁倍率とは？

建築基準法で定められた耐力壁の強度を表す値。

壁倍率1.0倍で1.96kN/m（1mあたり約200kg）に耐える強度を有しています。
右図の一般的な筋交い（45mm×90mm）で壁倍率4.0倍と定められています。
MLTはこれと同程度の耐力を確保できます。



費用と工期の目安

一般的な筋交い耐力壁である既存施設（平家80㎡：作業場）をモデルに、筋交いをMLT耐力壁に置き換えた場合のコストと工期を試算しました。 ※令和4年度時点

○コスト（全体工事費）

194千円/㎡ ➡ 212千円/㎡

9.7% UP

○工期

120日 ➡ 120日

変わらない

【工種別】木工事+38%

内外装工事-15%

○内観イメージ

MLTを使えば温もりの
ある空間に！



開発元

宮崎県木材利用技術センター

※設計・施工に当たっては「MLT耐力壁標準仕様書」を御参照ください

TEL:0986-46-6044

— MLT耐力壁は地元の設計・施工・木材製造の各専門家の協力を得て開発されました —

詳細はこちら
（同センターHP）

